

3つの設計方針

- 『迅速な出動』と『実践的な訓練』を実現する防災拠点
- 『環境親和型の ZEB Ready 庁舎』と『健康で快適な環境』の実現
- 市民の防災力を育む、庁舎内外に展開する『防災アミューズメント』



1. プロジェクト概要

近年の大型台風や多発する集中豪雨への対応、また、南海トラフ地震などの大規模災害への備え、さらに広域連携など、消防に求められている役割は年々高度化・複雑化しています。

新しい消防庁舎はあらゆる災害に対して迅速に対応できる消防力の充実に加え、市民の日常的な防災教育や体験を通して、消防と市民の防災意識の共有が重要であると考えます。

市民の生命や財産を守るための日々の活動を身近に感じてもらうことで、地域の防災力を高める磐田市の新しい防災拠点を計画します。

2. 建築計画

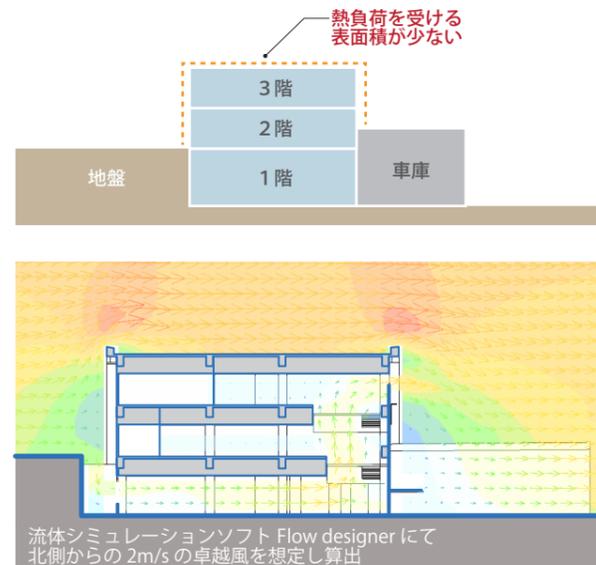
○環境対策・ランニングコスト

(1) ZEB Ready 環境親和型庁舎を目指す

- ・ 北側・西側の1階は地盤に接し、南側・東側は車庫・倉庫等に囲われた計画とすることで、外部からの熱負荷の抑制と、敷地高低差を活かした計画です。
- ・ 2階/3階の外壁は開口部を最小限とし、南側は彫りの深い立面とすることで日射しを遮ります。
- ・ 標準的な省エネ手法や高効率機器等をバランスよく組み合わせ、ZEB Ready を実現します。

(2) ランニングコストの縮減の工夫

- ・ 日射や外気温の影響を受けやすいゾーンを吹抜けとし空調負荷を低減する計画です。高断熱で空調の効きやすい庁舎とし、ランニングコストを縮減します。



○ゾーニング計画

(1) 『迅速な出動』のための土地利用計画

主要道路となる南側道路と高低差の少ない高さで庁舎を配置し、最短でスムーズな出動に配慮した計画です。安全に素早く出動ができるように、一般車両とは動線を分け、消防専用の出動出入口を設けます。

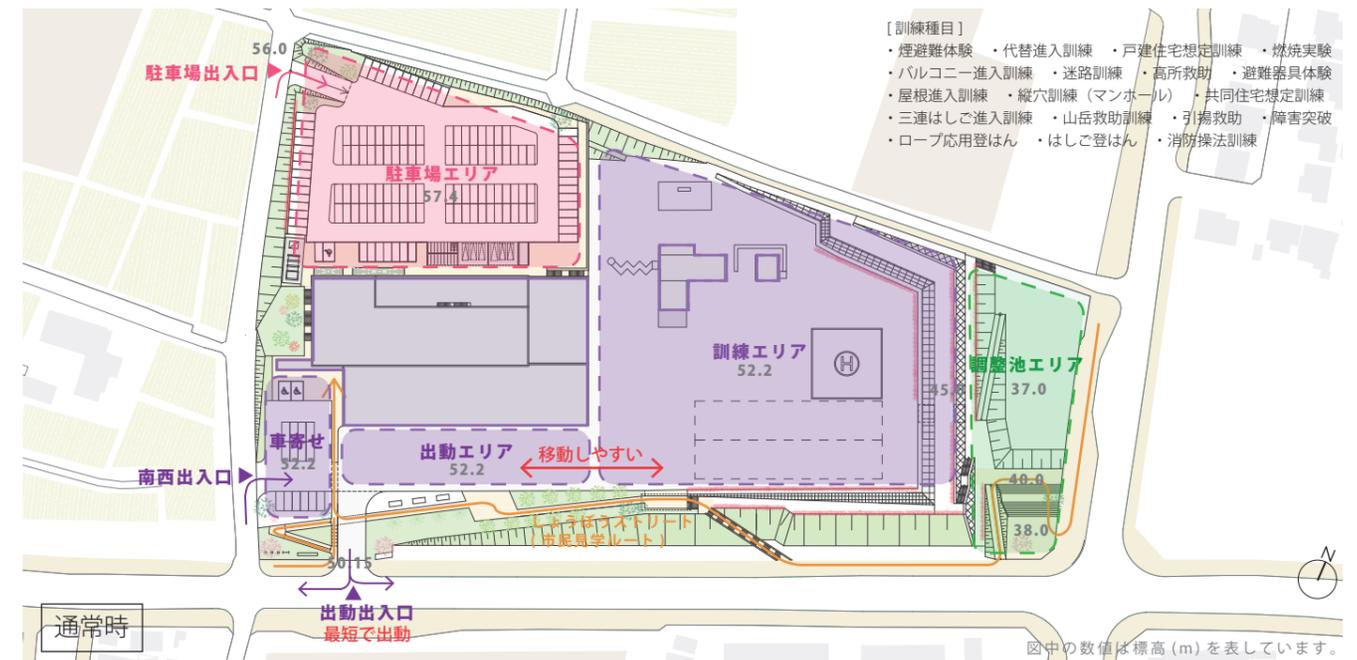
(2) 『訓練エリア』と車庫を同じレベルに配置

『訓練エリア』を車庫と同じ造成面に配置し、消防車両の移動を容易にするとともに、訓練時の出動要請にも迅速に対応できる計画とします。

(3) 『駐車場エリア』を北側にまとめて配置

来庁者・職員の駐車場は北側にまとめ、出動動線と交差ししない計画とします。集約した大面積の駐車場は、大規模災害時の受援にも対応できます。

また、南西側に車寄せを設け、市民が気軽に立ち寄れる計画とします。



○平面計画

(1) 緊急時に出勤が迅速に行える庁舎

- ・迅速な出勤のため、消防車両車庫と出勤準備室を隣接させ、消防署部門を近接した配置とします。
- ・車庫A・Bには13台の消防車両を格納します。
- ・生活エリアは、出勤準備室と近接し、出勤しやすい配置とします。

(2) "みる・触れる・体験する" 開かれた市民エリア

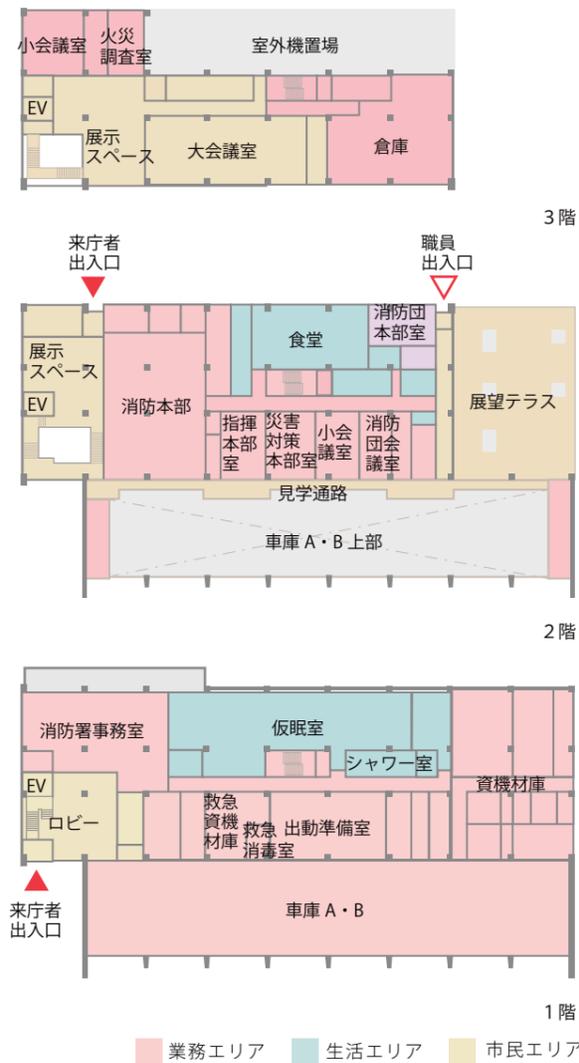
- ・市民が防災や消防活動へ関心を持てるような展示スペースを計画します。
- ・ロビーの階段と連続して車庫内に見学通路を計画します。
- ・2階に訓練塔を眺める展望テラスを設けます。

(3) 大規模災害時に連携の取りやすい災害対策エリア

- ・2階に指揮本部室・災害対策本部室・小会議室・消防団会議室を隣接配置し、災害時に機能連携しやすい配置とします。

(4) 大人数での会議が可能な3階エリア

- ・3階に約150名の講義が可能な会議室を計画します。



○防災計画

(1) 大規模災害時に円滑に業務を行える防災庁舎の計画

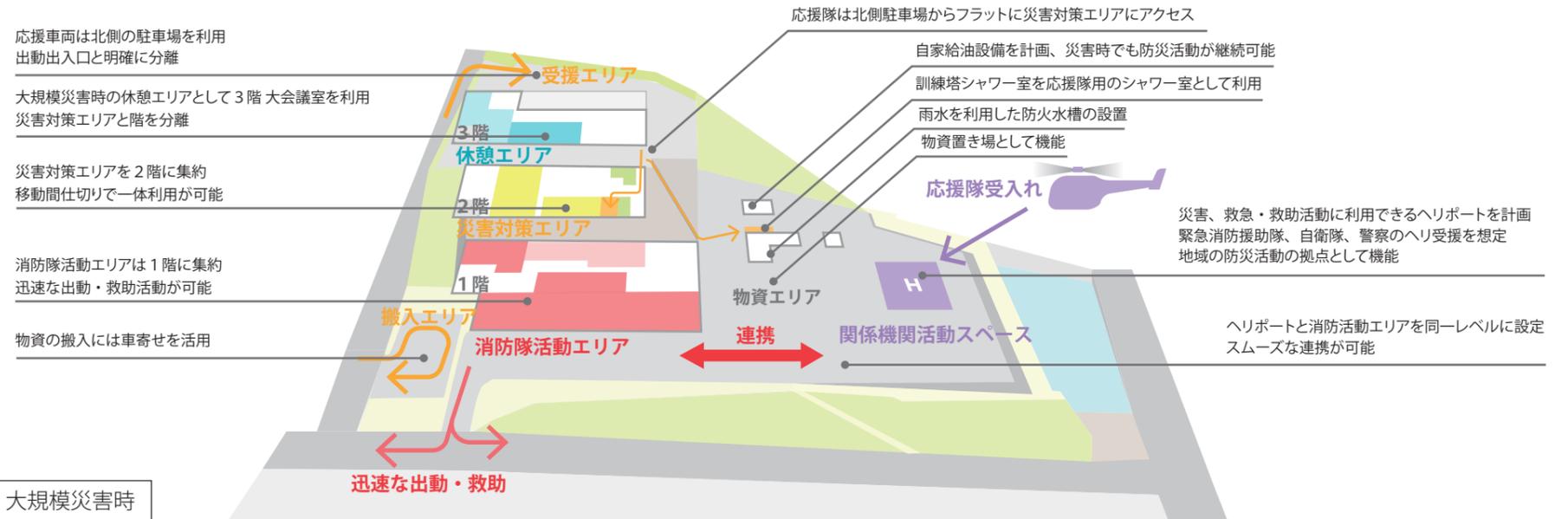
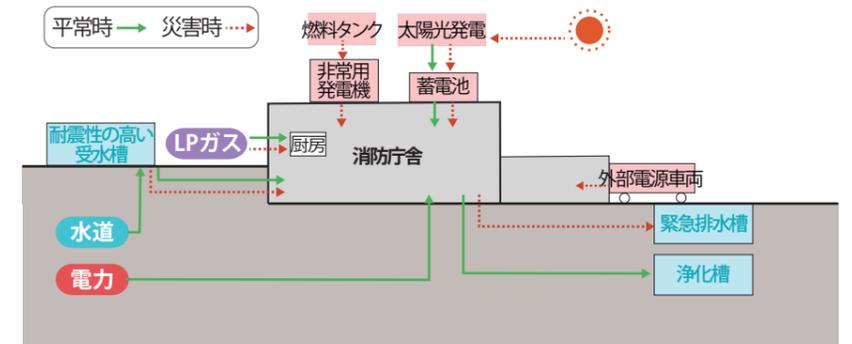
- ・消防庁舎は、大規模災害時の業務継続機能が求められます。庁舎は耐震構造とし、耐震壁を多く配置して高耐震化を図ります。また、インフラのバックアップにより、機能維持を行います。
- ・大地震に対して建物の持つべき安全性を確保するため、「静岡県 建築構造設計指針・同解説」を基に、静岡県地震地域係数 $Z_s=1.2$ および用途係数 $I=1.25$ を考慮した強固な構造体を構築します。震度6強に対して建物が崩壊・倒壊しない設計です。
- ・天井が落下しないように配慮した計画とし、災害時も業務を継続することができます。

(2) 重要室の電力・空調は発電機回路によりバックアップ

- ・指揮本部室・消防本部・消防署事務室・災害対策本部室等の重要室は、停電させなくても受変電設備の点検が可能です。また、重要室の空調は、災害時においても発電機回路で供給し、防災活動をバックアップします。
- ・非常用発電機は、72時間(3日分)以上の燃料を確保します。

(3) 上下水道 途絶時のストックの充実

- ・緊急遮断弁を設置した耐震性の高い鋼板製一体型受水槽によって、一定期間分(4日間以上)の飲料水やトイレ洗浄水を確保します。
- ・排水は緊急時用汚水貯留槽により対応します。



3. 工程表

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
基本設計	実施設計				
		土木一期工事			
			新消防庁舎建設工事		
				土木二期工事	
					供用開始